

競技運営に関する注意事項

- 1 大会開催にあたって、運営委員会で説明、または決められた事項は、チームの全員に必ず徹底させること。
- 2 ベンチは組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。
- 3 シートノックは試合運営上第一試合のみとし、試合前に5分間ずつ行う。
但し天候やグラウンド状況等により行わない場合もある。
- 4 試合中にベンチの中に入れる人員は、登録された選手20名(小学3年生以上が望ましい)、監督、コーチ、スコアラー、代表者を含む5名とする。登録選手は、スポーツ傷害保険に加入していること)。水分補給及び救護の要員として保護者2名のベンチ入りは認める。
- 5 試合を行うチームの監督と主将は、試合開始予定時間の30分前に各試合会場の本部へメンバー表4通を提出し登録メンバーの照合を受けること。なお、提出するメンバー表には必ず登録選手全員の氏名(ふりがなを付けること)を記入すること。
その時に、両チームの主将が攻守決定のジャンケンを行う。
- 6 試合開始予定時刻になっても会場に来ないチームは、原則として棄権とみなす。
- 7 ファウルボール球の処理について。
 - (1)一塁側に止まったものは、一塁側のチームのボールボーイが拾う。
 - (2)三塁側に止まったものは、三塁側のチームのボールボーイが拾う。
 - (3)捕手の後方に止まったものは、攻撃側のチームのボールボーイが拾う。※ボールボーイはヘルメット着用のこと。
- 8 試合中スコアボードの得点掲示を行うこと。
- 9 試合終了後、両チームはグラウンドの整備を行うこと。大会初日はグラウンド内で次の試合の投球練習はできない。
- 10 雨天の際の連絡について。
 - (1)小雨の場合でも球場が使用可能な状態の場合は、試合を決行する。
 - (2)問い合わせは各チームより積極的に行うこと。決定時刻 午前6時30分
連絡先・小木曾(三郷市少年野球連盟) TEL090-6794-0209
平野(東武よみうり) TEL080-3400-1264
- 11 使用球はケンコーボール(J号球)とする。
- 12 ユニホームは少年野球にふさわしい品位を保つものとする。また同一チームのプレイヤー(監督・コーチを含む)は、同一・同形・同意匠のユニホーム(帽子を含む)を使用しなければならない(監督・選手は必ず背番号を付けること。算用数字で、0番から30番の数字であること。なお、監督は30番、コーチは28、29番、主将は10番に統一すること)。
- 13 スパイクは金具の付いたものは使用しないこと。

14 用具

(1) バットについて

- a. 1本の木材で作ったバットのほか、接合バットの使用を認める。
- b. 金属バット
全軟連公認のマークのついている金属製バットのみ、使用を認める。
- c. 木製の着色バットは、赤・青など派手なものは使用しないこと。ただし、学童用の金属バットで認められたものを除く。

(2) マスク

試合の場合は、公認マスクを使用する事。

(3) ヘルメット

打者ならびに走者およびベースコーチャー、ボールボーイは危険防止のため耳付きのヘルメットを使用する。

(4) 捕手の防具

捕手はレガース・プロテクター・捕手用ヘルメット・マスク・ファウルカップを着用しなければならない。レガースは必ず両足に着用すること。また、ヘルメットはマスクと一体のものは使用できない。